

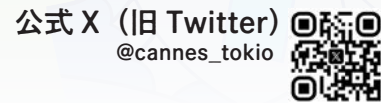
タイムテーブル



カンヌ監督週間 in Tokio 2024

16:45 *イベント This Life of Mine	12/8 日	19:45 化け猫あんずちゃん
18:20 Mongrel	12/9 月	
18:20 Eat the Night	12/10 火	20:45 Good One
18:00 *イベント 化け猫あんずちゃん	12/11 水	20:50 Eat the Night
18:00 *イベント This Life of Mine	12/12 木	20:50 Mongrel
18:30 Good One	12/13 金	20:35 Gazer
12:40 *イベント ナミビアの砂漠	12/14 土	16:15 *イベント 『とても短い』山村浩二監督特集
12:00 UNIVERSAL LANGUAGE	12/15 日	14:00 East of Noon
18:30 The Other Way Around	12/16 月	20:50 East of Noon
18:15 Gazer	12/17 火	20:30 The Other Way Around
18:30 『とても短い』山村浩二監督特集	12/18 水	20:00 ナミビアの砂漠
	12/19 木	20:50 UNIVERSAL LANGUAGE

※「*イベント」詳細は公式サイトにてご確認ください。
 ※上映作品・日時・イベントにつきましては、変更の可能性があります。
 ※最新情報は、公式サイト・SNSにて随時お知らせいたします。



開催期間：2024年12月8日(日)～12月19日(木)

明通通り沿い 地下鉄 B1 出口正面 ココチビル 8F
ヒューマン・トラストシネマ渋谷
 03 (5468) 5551 ttcg.jp
 〒テアトルシネマグループ

ココチビル
 明通通り
 ヒューマン・トラストシネマ渋谷
 有楽町線
 有楽町線
 有楽町線
 有楽町線

【鑑賞料金】
 一般：2000円 / 大学：1500円 / 小中高：1000円 / シニア：1300円
 ハンディキャップ割引：1000円 / TCG会員：いつでも1400円 ※火・木1200円割引ナシ
 【前売券】ムビチケ前売券(オンライン)：1600円 <https://mvtk.jp/film/Z0000067>
 ※水曜サービスデー(毎週水曜日)：1300円 ※イベント回：2000円均一(割引なし・特別鑑賞券使用不可)
 ※各種割引適用可 ※特別興行の為、株主ご優待券使用不可 / 株主提示割引使用可

quinzaine
 DES CINÉASTES
 Société des réalisatrices et réalisateurs de films
 CANNES 2024
**監督週間
 in Tokio**

Sélection indépendante et singulière

唯一無二のセレクション

カンヌ国際映画祭<監督週間>2024 特集上映

最前線の映画たちに出会う12日間



日程 2024年12月8日(日)～12月19日(木) 劇場 ヒューマン・トラストシネマ渋谷

QUINZAINÉ
DES CINÉASTES
CANNES 2024

監督週間 in Tokyo 上映作品

先鋭的な映画作家を紹介する「監督週間」の本来の主旨に沿い、2024年のセレクションも見事に刺激に満ちたものだった。繊細なドラマから実験映画の香りをまとう作品まで幅広く、そこにドキュメンタリーやアニメーションも溶け込む形で洋の東西の才能が集結した。それぞれが極めてユニークな形で「現代の世界と私(たち)」を切り取っている。日本から4人の作家が選出されたことも寿ぎつつ、2024年の「現在」を目指したい。



©いましろたかし・講談社/けけ猫あんずちゃん製作委員会

Ghost Cat Anzu 『けけ猫あんずちゃん』

母を亡くした小5の少女かりんは、父の地元で連れてこられ、祖父が住職の寺で夏を過ごす。寺には人間のように暮らす37歳のけけ猫のあんずちゃんが入りしており、かりんは驚愕するが、やがてあんずちゃんに重要な願い事を相談する…。森山未來が演じるあんずちゃんを山下監督が実写で演出し、取り込んだ映像のアニメーション化プロセスを久野監督が率いた。おっさんキャラのけけ猫の絶大なインパクトは、カンヌを爆笑させた!

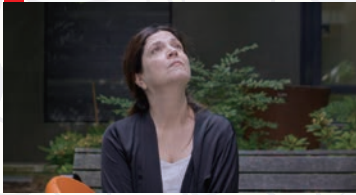
CAST: 森山未來, 五藤希愛, 青木崇高, 市川実和子, 鈴木慶一

<2024年/97分/日本>
配給:TOHO NEXT



監督
久野遥子 山下敦弘
Yoko Kuno · Nobuhiro Yamashita

オープニング上映



©CHRISTMAS IN JULY

This Life of Mine 『これが私の人生』

55歳の女性、愛称バービー。軽い不安を抱え、セラピーにも通うが効果は怪しい。成人した子どもたちとの関係も微妙だし、親しく話しかけてきた男性にも全く見覚えが無く、バービーは不安を募らせる…。人生後半に差し掛かった女性の軽妙にして真摯なポートレート。一時代を築き、23年7月に57歳で逝去したフィリエール監督の遺作であり、撮影後に遺族が作品を完成させた。監督の分身として見事な存在感を発揮するアニエス・ジャウイも素晴らしい。

CAST: Agnès Jaoui, Angéline Woreth, Édouard Sulpice, Philippe Katerine

<2024年/99分/フランス> 日本語字幕



監督

Sophie Fillières

ソフィー・フィリエール

©Anne Villacèque - 2012

国際映画批評家連盟賞 受賞



©2024「ナミビアの砂漠」製作委員会

Desert of Namibia 『ナミビアの砂漠』

21歳のカナは優しい会社員から、野心的なクリエイターへと交際相手を変えるが、乾いた心が潤うことはなく、なかなか人生を自分のものに出来ない。奔放な感情と上手く対峙できずにもがく主人公の心境を生々しく捉え、新鮮で鋭い切れ味とベテランのような安定感の双方を兼ね備えた山中監督は、20代にして「監督週間」入りを果たした。その世界を完璧な形で体現した河合優実との奇跡的なコラボレーションが、日本映画史に残る輝きを放っている。

CAST: 河合優実, 金子大地, 寛一郎, 新谷ゆづみ, 中島歩, 唐田えりか

<2024年/137分/日本>
企画製作・配給:ハビネットファントム・スタジオ



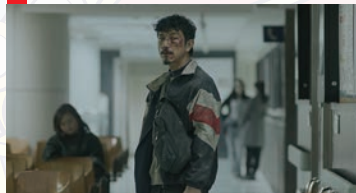
監督

山中瑤子

Yoko Yamanaka

©2024「ナミビアの砂漠」製作委員会

カメラドール (スペシャル・メンション)



Mongrel 『モングレル (白衣蒼狗)』

タイから台湾に渡った青年オームは、山岳地帯で資格を持たずに介護業務を行っている。不法滞在外国人たちを働かせる非情な組織に加担しながら、オームは介護する相手に自らの苦境を重ねていく…。暗闇と省略を効果的に用い、ミニマルなリアリズムで追い込まれた人々の過酷な心境を描き切ったウェイリャンとヨウチャオ共同監督は、カンヌ映画祭全体を対象とする新人賞「カメラドール」でスペシャル・メンション(実質2等賞)を受けた。

CAST: Wanlop Rungkumjad, Daniel Hong Yu-hong, Lu Yi-ching, Kuo Shu-wei

<2024年/128分/台湾、シンガポール、フランス>
日本語字幕



監督

Chiang Wei Liang
Co-Director: YIN You Qiao

チャン・ウェイリャン
共同監督:イン・ヨウチャオ



East of Noon 『イースト・オブ・ヌーン』

愚かな権力者が支配する海辺の街。青年アブドは警察の汚れ仕事を手伝う一方、宅録音楽で成功を夢見ている。恋人のヌナも体を張りながら毎日を生き抜く。そして祖母は地元の語り部として、若者の運命を導いていく。現実から取り残されたような地で、自由と想像力に希望を託すタイムレスな寓話。モダンとレトロが交わる独特の演出が際立つエルクシ監督はインスタレーションや彫刻なども手掛けるアーティストであり、本作が長編第2作。

CAST: Ahmed Kamal, Menha El Batroui, Omar Rozeik, Fayza Shama

<2024年/109分/オランダ、エジプト、カタール>
日本語字幕



監督

Hala Elkoussy

ハラ・エルクシ

©LOS ILUSOS FILMS 2024



The Other Way Around 『ジ・アザー・ウェイ・アラウンド』

映画監督のアレと俳優のアレックスは15年に渡る交際を終らせることにする。出会いより別れを祝福すべきというアレの父親の言葉に従い、同棲解消記念パーティを企画するが、友人たちは困惑する。カップルの関係に映画作りを交えたメタな要素も持つロマコメの一種であり、ベルイマンやトリュフォーへの目せも嬉しい。女性の内面や人間関係のもつれを描くことに長けるトルエバ監督は、スペイン内外の映画賞受賞も多い実力派監督のひとり。

CAST: Itsaso Arana, Vito Sanz

<2024年/114分/スペイン、フランス>
日本語字幕



監督

Jonás Trueba

ホナス・トルエバ



©ATELIER DE PRODUCTION - AGAT FILMS & CIE

Eat the Night 『イート・ザ・ナイト』

パブロとアボの兄妹は長年に渡りオンラインゲームのダークヌーンにハマってきたが、突然のサービス終了の知らせに衝撃を受ける。アボが自身のアバターとの別れを惜しむ一方で、現実世界でヤクの取引に携わるパブロは新しい相棒との関係を深め、敵対グループといがみ合う。スリラーとロマンス、リアルとバーチャルが巧みに交錯するエモーショナルな青春映画。ベルリン映画祭で初短編が最高賞を受賞したコンビ監督による2本目の長編作品。

CAST: Théo Cholbi, Erwan Kepoa Falé, Lila Gueneau

<2024年/106分/フランス>
日本語字幕



監督

Caroline Poggi, Jonathan Vinel

キャロリーヌ・ポギ&ジョナサン・ヴィネル

©ATELIER DE PRODUCTION - AGAT FILMS & CIE



UNIVERSAL LANGUAGE 『ユニバーサル・ランゲージ(原題)』

雪が積もる街に、複数の人物が交差する。少女は厚い氷の中に閉じ込められたお札を手に入れるべく奔走する。少年はメガネを七面鳥に奪われたと訴える。つまらない役所仕事を辞めたマシューは、母に会うための謎めいた旅に出る。イランとカナダが繋がる不思議な地にて、シュールで奇妙なエピソードが絶妙に絡み合う。独自の世界観と映像センスで魅了する実験映画出身のマシュー・ランキン監督による長編第2作にして、米アカデミー賞のカナダ代表作品。

CAST: Rojina Esmaeili, Saba Vahedyousefi, Pirouz Nemat, Matthew Rankin

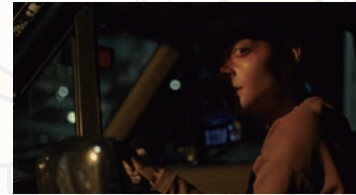
<2024年/89分/カナダ>
日本語字幕
配給:クロックワークス



監督

Matthew Rankin

マシュー・ランキン



Gazer 『ゲイザー』

脳に珍しい障害を抱える若い母親が、娘のための金を必要とするあまり、怪しい女から奇妙な仕事の依頼を引き受ける。やがて、欺瞞と復讐と殺人の世界に足を踏み入れる羽目になる…。70~80年代のパラノイア・スリラーにオマージュを捧げる本作は16mmフィルムで撮影され、ジャンルへの愛着に溢れる。主演女優とともに脚本を執筆したスローン監督は電気技師から映画作りに転身し、低予算で手掛けた長編第1作が本作である。

CAST: Ariella Mastroianni, Jack Alberts, Renee Gagner, Marcia Debonis

<2024年/114分/アメリカ> 日本語字幕



監督

Ryan J. Sloan

ライアン・J・スローン

©2024「ゲイザー」製作委員会



2024©Yanai Initiative

Extremely Short 山村浩二監督短編集『とても短い』

「監督週間」短編部門に選出された『とても短い』は、米国人の翻訳家が企画者となり、古川日出男の原作を古川本人が熱く朗読し、東京を舞台に、ある男の一生と「だ」という音から始まる言葉の数々が縦横無尽に画面を駆け巡るアニメーションと日本文学の合体作である。その他、山村監督の名を国際的に知らしめた『頭山』(03)や、フランス童話作家を原作とする『年をとった鱈』(05)など、珠玉の短編作品7本を特集上映する。

上映作品: 頭山/年をとった鱈/こどもの形而上学/マイブリッジの糸/サティの「バラード」/ゆめみのえ/とても短い

<2024年/71分/日本>



監督

山村浩二

Koji Yamamura